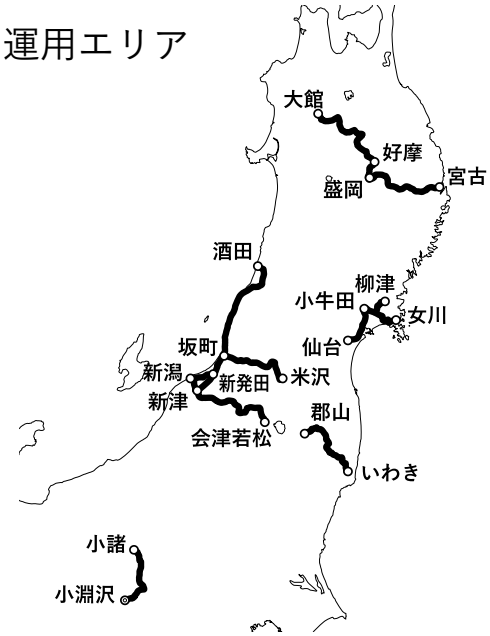
N キハ110系100番台

KATO PRECISION RAILROAD MODELS

東北の毎日のために
走ってきた。
いままでも、これからも。

JR東日本のキハ110系は平成3年(1991)に登場した近郊形気動車です。それまでの気動車とは大きく異なる軽快なスタイルやカラーリングが特徴で、新しい大出力エンジンや動力機構の採用で気動車のスピードアップに貢献しました。使用線区にあわせた仕様が各番号区分で分けられています。中でも100番台は、プラグ式客扉を備え、1人+2人掛けの3列のセミクロスシートで通路幅を広く取り、ワンマン運転に対応した車両です。JR東日本のローカル線区を中心に広範囲で活躍しています。
「サウンドボックス」「サウンドカード＜キハ110＞」で、リアルで力強い走行音とともに運転をお楽しみいただけます。

運用エリア



- 花輪線
  盛岡ー大館
- 山田線
  盛岡ー宮古
- 磐越東線
  郡山ーいわき
- 東北本線
  小牛田ー仙台
- 石巻線
  小牛田ー女川
- 気仙沼線
  前谷地ー柳津
- 磐越西線
  会津若松ー新潟
- 信越本線、羽越本線
  新津ー坂田
- 白新線
  新潟ー新発田
- 米坂線
  坂町ー米沢